

令和3年度

秦野市・東海大学提携事業

市民大学

【講義1】

『戦後文学を読む —東京オリンピックの年に考える日本社会—』
全5回

第1回（9月25日）三島由紀夫『金閣寺』と水上勉『金閣炎上』—事実と虚構の関係

講師 おおき しもん 大木 志門 氏（文学部日本文学科教授）

第2回（10月2日）野間宏『暗い絵』—集まることと考えること

講師 きむら まさき 木村 政樹 氏（文学部日本文学科講師）

第3回（10月9日）坂口安吾『桜の森の満開の下』—人間は桜の花びらである

講師 あだちばら たつはる 安達原 達晴 氏（文学部日本文学科講師）

第4回（10月30日）福永武彦『廢市』—時代の陰画として

講師 あだちばら たつはる 安達原 達晴 氏（文学部日本文学科講師）

第5回（11月13日）大西巨人『精神の氷点』—暴力についての言葉

講師 きむら まさき 木村 政樹 氏（文学部日本文学科講師）

すべて土曜日 午後1時半～午後3時 資料代 1,000円（5回分）



【講義2】

『萬葉集の世界20 巻三を読む—死者をいたむ歌—』
全5回

第1回（9月25日）大伴家の人びと

第2回（10月2日）客人、逝く

第3回（10月9日）妻を失う

第4回（10月23日）妻を失う、その2

第5回（10月30日）皇子を送る

講師 しみづ よしを 志水 義夫 氏（文学部日本文学科教授）

すべて土曜日 午後3時10分～午後4時40分 資料代1,000円（5回分）



主催 秦野市教育委員会

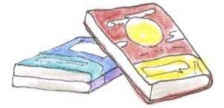
申し込み・お問合せ 秦野市立図書館 電話(0463)81-7012

各回の概要

【新型コロナウイルス感染拡大防止にご理解・ご協力をお願いします】
・マスクをご着用ください ・状況により中止等になる場合があります

【講義 1】

『戦後文学を読む —東京オリンピックの年に考える日本社会—』



回・日にち	各回テーマ	各回の概要
第1回 9月25日(土)	三島由紀夫『金閣寺』と水上勉『金閣炎上』—事実と虚構の関係	戦後に起きた同じ事件を題材にした2作品を比較します。
第2回 10月2日(土)	野間宏『暗い絵』—集まることと考えること	グループを作ることと思考することの関係性について考えます。
第3回 10月9日(土)	坂口安吾『桜の森の満開の下』—人間は桜の花びらである	主に作品の魅力を考察し、終戦直後の世相にも触れます。
第4回 10月30日(土)	福永武彦『廢市』—時代の陰画として	作品が日本の高度成長期に発表されたことの意味を考えます。
第5回 11月13日(土)	大西巨人『精神の氷点』—暴力についての言葉	「暴力」と「言葉」に着目して作品を読み解いていきます。

【講義 2】

『萬葉集の世界 20 巻三を読む—死者をいたむ歌—』

回・日にち	各回テーマ	各回の概要
第1回 9月25日(土)	大伴家の人びと	概説
第2回 10月2日(土)	客人、逝く	460～461番歌
第3回 10月9日(土)	妻を失う	462～474番歌
第4回 10月23日(土)	妻を失う、その2	481～483番歌
第5回 10月30日(土)	皇子を送る	475～480番歌

【場所】秦野市立図書館2階視聴覚室 【受講資格】高校生以上

【定員】各講義40人 申込先着順 【申込】図書館0463-81-7012

【受付開始】9月1日(水)午前8時半

※各講義、全5回一括の申し込みとなります。

※講義1、2とも受講可能ですが、日にちがずれていますのでご注意ください。

※欠席した場合は、後日、資料を差し上げます。資料代は返金できません。